

作成日 2009年5月28日

作成者 岡田

確認日 2009年5月29日

確認者 湯浅

(1) 建物概要

建物名称	(仮称)エステムコート京都紺屋町	敷地面積	904 m ²	<p>外観パース等</p> <p>図を貼り付けるときは</p> <p>シートの保護を解除してください</p>
建物用途	集合住宅	建築面積	669 m ²	
建設地	京都市下京区土手町通正面下町	延床面積	2,911 m ²	
気候区分	地域区分IV	階数	地上5F	
地域・地区	商業地域、準防火地域	構造	RC造	
竣工年	2010年3月 予定	平均居住人員	150 人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)

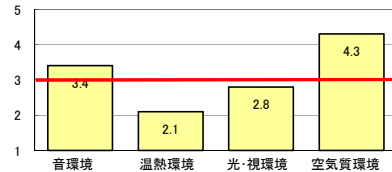
注1

Q 建築物の環境品質・性能 (居住環境のアメニティを向上させる性能評価)

SQ= 3.1

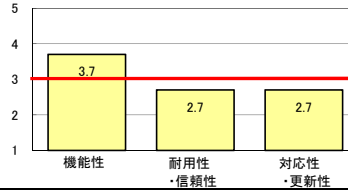
Q-1 室内環境 スコア(評価点):

SQ1 = 3.0



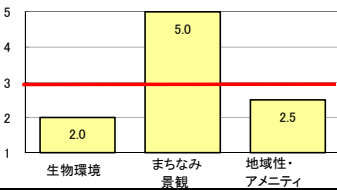
Q-2 サービス性能 スコア(評価点):

SQ2 = 3.1



Q-3 室外環境 (敷地内) スコア(評価点):

SQ3 = 3.3

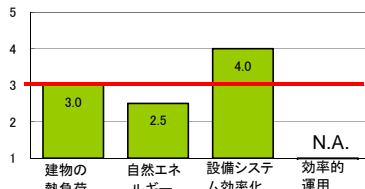


LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)

SLR= 2.8

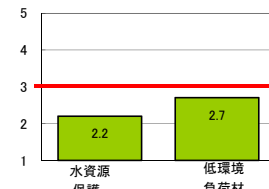
LR-1 エネルギー スコア(評価点):

SLR1 = 3.3



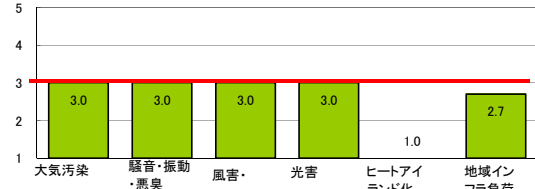
LR-2 資源・マテリアル スコア(評価点):

SLR2 = 2.6



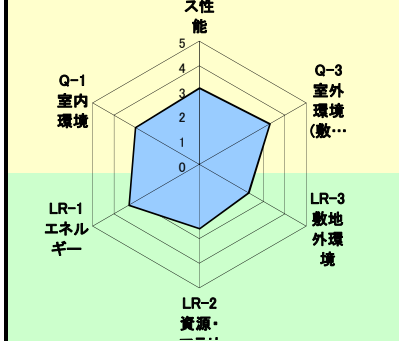
LR-3 敷地外環境 スコア(評価点):

SLR3 = 2.3



(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)

注1



(2-3) 環境性能効率

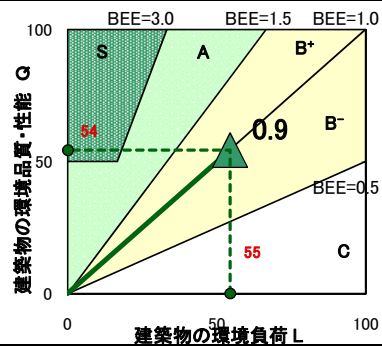
BEE

注2

$$BEE = \frac{\text{建築物の環境品質・性能 } Q}{\text{建築物の環境負荷 } L}$$

$$= \frac{25 \times (SQ - 1)}{25 \times (5 - SLR)}$$

$$= \frac{54.2}{54.5} = 0.9$$



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

注3

(3-1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

<実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入>

年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減量	削減率 %	
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²	削減率 %
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²	
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²	
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²	
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²	
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²	

(3-2) デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例
備考

Q: Quality L: Load LR: Load Reduction SQ: Score of Q category SLR: Score of LR category
注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点。NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。
注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1、Q-2、Q-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1、LR-2、LR-3のスコアにそれぞれの重み係数を乗じた合計値)から算定。
注3: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。

BEE: Building Environmental Efficiency